

くりっぴ

CREATIVE LEARNING INFORMATION PAPER

子どもたちの創意ある学習活動をバックアップする情報紙



第2号

平成8年(1996年) 11月1日発行
広島県教育委員会

キャンパスに 描いてほしい 自分色の夢

一人一人の顔が違うように、性格だって、好きなことだって違う。学校は、ペーパーテストや偏差値といったモノサシで、子どもたちをランクづけする場であってはなりません。なかでも高校時代は、多様な興味・関心、能力・適性、進路希望に応じて学ぶ時期。自分としっかり向き合って、**本当に好きなこと**や**したいこと**、**将来の生き方**をじっくり考えることができるよう、現在、教育委員会や学校では、**高校教育改革**に取り組んでいます。



ストップ・THE いじめ

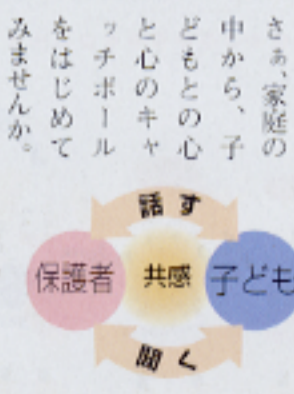
会話は心と心の
キヤッチボール
まず家庭の中から

いじめは、人間として絶対に許されない行為です。

いじめを苦に自らの命を絶つという痛ましい事件も起こっています。「せめて誰かに相談していれば……」「一人でもいいからその子の気持ちに気づく人が身近にいれば……」と誰もが思うことでしょう。

いじめを防ぐためには、私たちは日頃から子どもと語りあい、何でも話せるようにしておきたいものです。日常の生活のなかで、ふれあいやコミュニケーションを大切に、子どもの心をきちんと受け止める日々を送りたいものです。

子どもに生きる楽しさや人生のすばらしさを教えることができるのは、まず保護者なのです。さあ、家庭の中から、子どもとの心と心のキヤッチボールをはじめてみませんか。



《進路選択》

に当たっては

さまざまな進路選択が可能となるよう学校の特徴づくりを進めます。また、各学校・学科の特色に応じた入試制度の在り方について検討します。

さまざまな個性や良さを生かす

【中学校では】

生徒一人一人が将来の仕事や生き方について考え、自らの進路を選択できるよう支援しています。高等学校の体験入学や職場見学などの体験学習も行われています。

将来の生き方を考える進路指導



最新のコンピュータ設備を使った体験入学（鹿児島県立西郷高等学校）

盲・ろう・養護学校高等部では

卒業後の進路を展望し、地域社会での生活との関連を重視した教育活動を、生徒一人一人の主体性や要望を大切にしながら、きめ細かく保障していくことができるように努めています。



農業学習・番作きめざした土づくり（三原養護学校）

特色ある学校づくりを進めていきます。

偏差値偏重の教育を反省し、生徒一人一人により一層きめ細かく対応できるように、教育の質的充実を図ります。そのために、それぞれの高等学校や盲・ろう・養護学校高等部では、教育内容を多様化し、個性尊重、人間性重視の教育を展開する特色ある学校づくりを推進しています。

今、なぜ高校教育改革か

1. 生徒が個性化、多様化しています

現在、広島県では中学校を卒業した生徒の98.1%（平成8年3月）が高等学校等へ進学しています。こうしたなか、生徒の興味・関心や適性、希望する進路もますます多様になっています。

このため、生徒一人一人の個性をはくくむ柔軟性のある教育システムへの見直し求められています。



2. 偏差値偏重の教育からの脱却

学歴を重視する社会的風潮や行き過ぎた受験競争は、学校教育にも影響を及ぼし、学校や生徒を偏差値という一つの尺度で評価しがちな傾向を助長してきました。

こうした偏差値偏重の教育は、子どもたちにさまざまなストレスをもたらし、高等学校においては、不本意入学やいじめ・不登校・中途退学等の問題を引き起こしています。

3. 生涯学習社会への対応

これからは、青少年期だけでなく生涯にわたって学ぶ時代。人々が生涯のいつでも、自由に学習機会を選択して学ぶことができ、その成果が人生の中で生かされていく生涯学習社会の実現に向け、学校も生涯学習機関としての役割を果たしていく必要があります。

4. 国際化・情報化時代の人づくり

国際化、情報化の進展は、私たちの暮らしや仕事のあり方を大きく変えています。日本や諸外国の文化等について理解を深め、互いの人権を尊重し、共に生きる社会の実現をめざしていく必要があります。また、情報や情報手段を主体的に選択し活用する力をはくくむことが必要とされています。



すべての生徒が自分の進路を切り拓くことのできる力をつけるために 【高等学校や盲・ろう・養護学校高等部では】

定時制・通信制の高等学校では

自分のライフサイクルに合わせて、ゆとりをもって学習することができる高等学校教育の場として、また、地域ニーズに対応したきめ細かな教育を提供する学校として充実していきます。
(設置学科：普通科、専門学科)



ゆとりとくつろぎのある空間を持つ通信制課程の新校舎（西高校）

全日制の高等学校では

生徒が個性を最大限に伸ばし、興味・関心や進路希望等に応じた主体的な学習ができるよう、選択幅の広い柔軟な教育課程の編成や総合学科をはじめとする特色ある学校・学科づくり等を行います。

普通科



生徒のニーズに応じた
選択幅の広い
コース・類型の導入

学校
の特色づくり

外国語教育に力を入れて
いる高校、地域と一体化した教育活動
を行う高校など、

地域の人々を講師として招く特色ある教育活動の実践（千代田高校）

専門学科



将来のスペシャリストを
養成する
豊富な専門科目
の開設

魅力ある学科・
コースの設置

環境科学科、国際経済
科、福祉科 etc... 時
代のニーズに即した



地元のお店に出向いての実践的な授業実習（尾道商業高校）

総合学科



充実した進路
ガイダンス
1年次の履修科目「産
業社会と人間」等で自
分の進路を考えます。

「産業社会と人間」の授業の中で、大学を訪問し自己の進路を探索（三次青島高校）

たくさんの
選択科目を用意
学習する科目の半数以上が選択
科目、興味や進路希望等に
あわせて自分だけの時間割りがつ
くれます。

総合学科を設置してい
る高校は、ただ今、
県内に2校。（高尾商業高校、
三次青島商業高校）
平成9年度には大竹高
校、至誠高校の2校に
新たに設置します。

進学・就職など

大学・企業等の入試・採用に当たっても
思考力や表現力、自主性が重視されはじめています。

みんな大切なひとりです

同和教育とは……

みなさんは、「子どもが、自分の力を
充分に発揮し、しあわせな生活を送っ
てもらいたい」と願っておられると思
います。また、「子どもたちはみんな、
「たくさんの友だちと仲よくし、しっか
り勉強したい」という願いをもっていま
す。

こうした保護者や子どもたちの願
いにこたえて、学校では、一人一人の子
どもの持っている可能性を最大限に伸
ばし、子どもの未来を保障する取組み
をしています。また、お互いの人権を
大切に育てる態度や身のまわりの不合理・
矛盾を見抜く力をはぐくみ、部落差別
をはじめあらゆる差別をなくし、真の
民主社会を建設していこうとする意欲
と実践力を育
てる取組みを
しています。

この教育が同
和教育です。
これらの取
組みは、それ
ぞれの地域の実情に応じて、保育所や
幼稚園から小学校・中学校・高等学校
および盲・ろう・養護学校のすべての
教育活動とおして、計画的にすすめ
られています。

このような同和教育の進展のなかで、
同和教育に対する認識は深まりつつあ
りますが、今なお、差別的な意識や考
え方にとらわれた言動があとを絶つて
いません。こうした状況を一日も早く
なくすためには、家庭と地域と学校と
が一体となって地域ぐるみでの同和教
育を推進することが大切です。

家庭・地域・学校が一体となって同
和教育や同和教育についての理解を深
め、一人一人の人権が尊重される社会
を築いていきましょう。

シリーズ・同和教育2

